

# 令和6年度 下阿多古小学校グランドデザイン

- ◆国の施策
  - ・「生きる力」の育成 ・社会に開かれた教育課程
- ◆はままつ教育
  - ・自分らしさを大切にする子供
  - ・夢と希望を持ち続ける子供
  - ・これからの社会を生き抜くための資質や能力を育む子供
- ◆清竜中学校区
  - ・自分の良さに気づき、他者との関わりを大切に、夢に向かって努力する子

- ◆校区の実態
  - 阿多古川を中心とした豊かな自然に恵まれている。
  - 温かな地域との関わりを通して、学校や子供たちは、見守られ、支えられている。
- ◆児童の実態
  - 明るく素直で学年関係なく接する。
  - 真面目でやるべきことを確実にやり遂げようとする。
  - ▲自分で判断し行動したり、粘り強く取り組んだりする。
  - ▲多様な考えに触れ、新しいことを創造し、挑戦する。

校訓 「強く 正しく 朗らかに」

学校教育目標 ふるさとを愛し 夢に向かい 共に学び 行動する子

## 教育目標具現のための3つの柱(キャリア教育の推進)

将来設計・選択の力  
(未来のわたし)

他者に働き掛ける力・  
コミュニケーション力  
(大切な仲間)

計画・立案・実行・評価の力  
(計画と実行)

### < 確かな学力 >

- 「自分の考えをもち進んで伝え合う子の育成」を目指した授業研修
  - ・主体的・対話的で深い学び
  - ・個別最適な学びと協働的な学び
- ICT機器の活用促進と情報活用能力の育成 (情報活用の実践力・情報モラル)
- 複式授業の学習スタイルをモデルとした学び方の習得

### < 豊かな心 >

- 「今、何をすべきか」を考え、行動する子を育む機会や場の設定
  - ・気づいて行動
  - ・ソーシャルスキル
  - ・動と静の切り替え
  - ・聴く姿勢
- 多様性にふれ、他者を尊重し、自分の可能性を広げる場の設定
  - ・異学年交流
  - ・連合教育
  - ・自分から行う気持ちのよい挨拶
  - ・「ありがとう」と素直に言える
- 自分のよさを知り、なりたい自分を思い描く場の設定

### < 強い心と健やかな体 >

- 個に応じた自力解決と挑戦の場の設定及び、個に寄り添った支援
  - ・「分かった」「できた」の積み上げ
  - ・「分からない」と言える
  - ・「やってみよう」と思える
- 体力や技能の向上に向け、めあてを持って運動に取り組むことができる場の工夫
- 心身の健康や安全に対する意識を高め、実践につなげる機会の設定

### ふるさと下阿多古を愛する心の醸成

- 地域の人材や環境を活用した教育活動の推進と、その価値づけ
- 地域の「ひと」「もの」「こと」との関わりへの気づき、大切に思い、感謝する



### 安定した学校経営の基盤

- ◆ 児童・保護者・教職員が安心できる学校風土づくり(温かい関わり、いじめを生まない、見逃さない)
- ◆ 保護者や地域から信頼される学校の推進(学校HP・ブログ、学校だより、教育相談体制、CS)
- ◆ 家庭との連携による学習・生活習慣の確立(家庭学習、保健だより「早寝、早起き、朝ごはん」の啓発)
- ◆ 児童の健康と安全を守る環境づくりと危機管理体制の構築(施設設備、防犯・防災、いじめ防止)
- ◆ 教職員の資質向上と心身の健康増進の両立(学び続ける教師 実効性のある働き方改革)

「また明日。」と、みんなが思える学校 ～ ウェルビーイングの実現 ～